

囲碁 AI 世界一奪取宣言

トリプルアイズは創業から 11 年目を迎えています。ここまで成長してこられたのも、全社員の努力の賜物にほかなりません。

とはいえ、わたしたちはまだ道の途中にいます。目指すべきゴールは果てしなく遠く、力を合わせずして、これから先のさらに困難な道を突き進んでいくことはできません。IT の世界はいつも嵐の中にあります。どこで足元をすくわれるかわからない。そんな世界なのです。

思えば、コンピュータに初めて触れた幼き日、拙いながらもひとつのプログラムを書きあげた若き日、わたしはもっと世の中が変わると信じていました。社会は IT によってもっと便利で幸せになると信じていました。

ところが現実の世の中は、わたしが夢見たようにはなっていません。多くの経営者が IT というテクノロジーをビジネスの道具としてしか見ていないからです。多くの企業が IT というテクノロジーを時代に取り遅れないための流行だと思っているからです。

IT が実現する本当の未来はまだここにはない。わたしはそう思っています。

いつのまにか、日本企業は IT でアメリカ、中国の企業に遅れをとるようになっていきます。電子立国の夢はとうの昔に醒めてしまいました。日本企業は見ないふりしています。

わたしたちはテクノロジーをもっともっと開拓しなければいけません。IT の荒野は無限に広いのです。今まだここにはないものを生みださなければなりません。そのための、わたしたちの武器は AI です。AI を制することは無限の荒野を制することなのです。

トリプルアイズが 2014 年から囲碁 AI の研究開発を始めたのは、そこに本当の未来が見えたからです。経営的に難しいときでも、囲碁 AI の研究開発をやめませんでした。他の日本企業は振り向きもしないなか、誰かがやらなければと強く思っていました。

最初に人間に勝ったのはグーグルのアルファ碁でした。天才が開発したプログラムです。次に現れたのはテンセントの絶芸（ファインアート）でした。莫大な予算と豊富な人員を割いて開発されています。わたしたちは情熱と努力で対抗してきました。

今こそ、わたしたちは本気でグーグル、テンセントに勝ちいかなければなりません。

今こそ、エンジニアの底力を見せるときです。

トリプルアイズは、必ず囲碁 AI で世界一を奪取します。そこに日本の IT 産業の真価を誇示したいのです。そのために、みなとともに精魂を傾け、創意工夫に努力を重ねることを誓います。

右宣言します。

平成 31 年 3 月 20 日

株式会社トリプルアイズ 代表取締役 CEO 福原 智